年間授業計画　様式

# 高等学校 令和７年度（１学年用）教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　　１組～　　５組

教科担当者：（1組：中西・平井　）　（2組：大森・眞々田　）　（3組：大森・平井　）　（4組：大森・眞々田　）　（５組：大森・眞々田　）

使用教科書：（「新編 言語文化」数研出版　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 書 | 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | ◎「とんかつ」三浦哲郎<br>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解することができる。 | ①本文を黙読し、わからない読みや語句を確認する。<br>②物語の展開、登場人物の人間関係・特徴を把握する。<br>③登場人物の言動から、心情を考える。 | | | ○ | 【知】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。<br>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>【学】積極的に文章から考えられる伏線を想像し、考えを組み立てて説明しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | ◎いろは歌・歴史的仮名遣い<br>◎「児のそら寝」宇治拾遺物語<br>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 | ①古文の言葉と仮名遣いについて理解する。<br>②現代語訳のために必要な基礎知識を身に付ける。<br>③登場人物の心情をとらえる。 | | | ○ | 【知】文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>【学】積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | ◎「羅生門」芥川龍之介<br>・作品の内容を踏まえ、登場人物の心情の変化を理解することができる。 | ①本文を黙読。語句の確認。作者について知る。<br>②物語の展開、登場人物の関係・特徴を把握する。情景描写や比喩表現の効果について学ぶ。<br>③主人公の心情の変化を考える。<br>④作品の主題を自分自身の視点で考察する。 | | | ○ | 【知】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br>【思】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>【学】積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | ◎短歌・俳句<br>・作品の成立背景や語句の意味をもとに、情景をイメージし、短歌・俳句を解釈することができる。 | ①読みや語句を確認する。<br>②作者について学ぶ。<br>③作品の成立背景や、語句の意味をもとに、短歌・俳句の内容を解釈する。 | | ○ | ○ | 【知】我が国の言語文化に特徴的な語句に関して、理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思】「読むこと」において、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、表現したいことを明確にしている。<br>【学】進んで作品構成を評価し、課題に沿って短歌を創作しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | ◎漢文訓読の決まり・格言<br>・漢文を読むための訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解することができる。 | ①漢文の訓読法と文法事項について理解する。<br>②現代語訳のために必要な基礎知識を身につける。<br>③格言の意味・内容をとらえる。 | | | ○ | 【知】訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解している。<br>【思】「読むこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、表現したいことを明確にしている。<br>【学】好きな格言について積極的に調べ、課題に沿って紹介文を書こうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | ◎「筒井筒」伊勢物語<br>・登場人物の行動について、多様な価値観から評価することができる。 | ①古文の言葉と仮名遣いについて理解する。<br>②現代語訳のために必要な基礎知識を身につける。<br>③登場人物の心情をとらえる。 | | | ○ | 【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>【思】「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>【学】進んで本文を自分と引きつけて捉え、学習の見通しをもって話し合いに参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | 合計 71 |